



No.514

学園報

九州産業大学 九州産業大学造形短期大学部
2026.4.30

CONTENTS

中期計画第2フェーズがスタートしました	01
産学共創センター(仮称)建設工事に着手.....	03
「グッドプラクティス賞」表彰式を開催.....	05
海外で何が変わった? ~グローバル研修のリアル~	06
KYUSAN NEWS・雑報	07

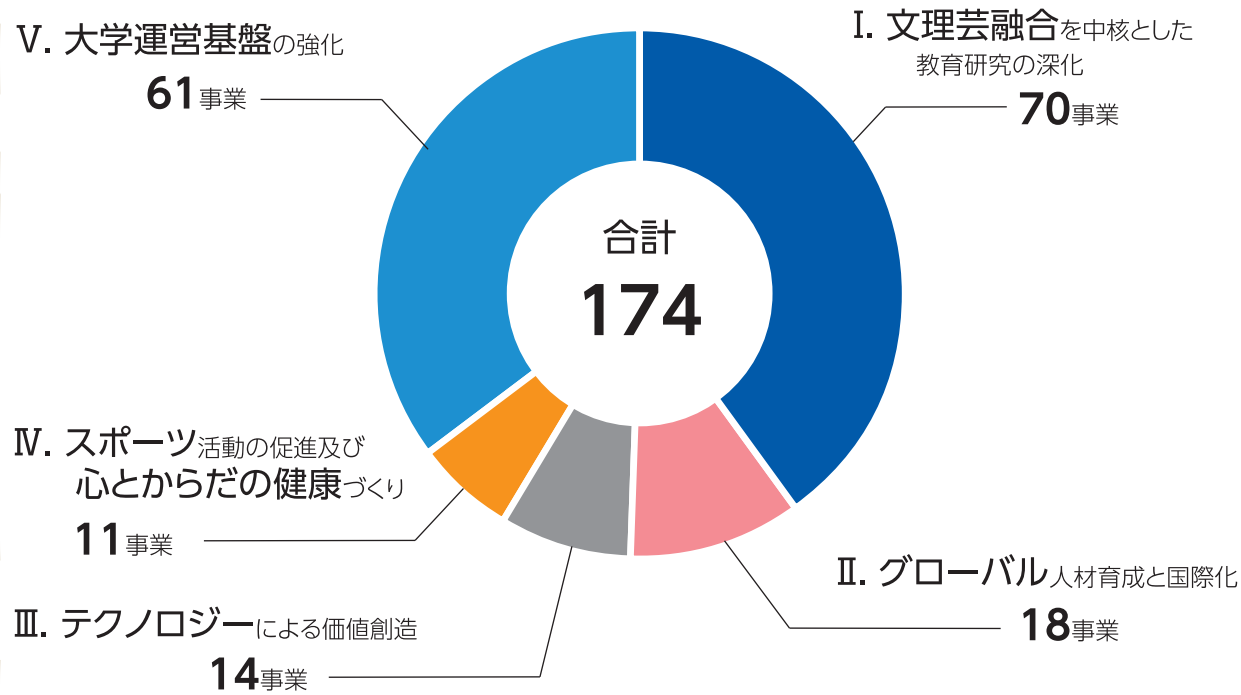


中期計画第2フェーズスタート！

2026年度は、本学園中期計画第2フェーズ(2026-2030)の初年度。スローガン「文理芸融合のグローバル総合大学へ」に向かって、2030年度にありたい姿を見据えた計画の後半をスタートさせる重要な一年です。

第2フェーズでは、第1フェーズ(2021-2025)で積み重ねてきた成果と課題を踏まえ、従来の「分野別」から、より戦略的・分野横断的な「5つの基本戦略」に基づく事業計画へと転換しました。

本年度は全174事業を計画。既存事業の整理と新規事業の立案を進めるとともに、社会環境の変化に柔軟に対応できる、アダプティブな大学運営をめざします。



新しいブランドメッセージ 次代を描く感性、世界を動かす実践力

2026年度からは、新しいブランドメッセージ「次代を描く感性、世界を動かす実践力」をコアバリューとし、教育研究活動などで提供する価値を通じて、これを具現化できる事業を編成しています。

基本戦略Ⅰ. 文理芸融合を中核とした教育研究の深化

70事業 うち新規事業 13

- SMArtFusionなどの分野融合プログラム・学生主体プロジェクトの展開による文理芸融合教育の加速
- リスキリング教育・大学院改革による社会人の教育研究環境の強化
- 若手研究者支援、URA 伴走型の共同研究、産学官金連携をはじめとする研究・産学連携の強化

基本戦略Ⅱ. グローバル人材育成と国際化

18事業 うち新規事業 9

- 海外大学との協定拡大や海外実習・留学プログラムの強化によるグローバル教育の推進
- 留学生の受入拡大と日本語教育・学生支援体制の充実による定着支援
- 職員の国際対応力向上と組織のグローバル化

基本戦略Ⅲ. テクノロジーによる価値創造

14事業 うち新規事業 10

- デジタルネイティブ世代に対応した数理・データサイエンス・AI教育プログラムの体系化
- 教育・研究・大学運営におけるデジタル活用の推進

基本戦略Ⅳ. スポーツ活動の促進及び心とからだの健康づくり

11事業 うち新規事業 5

- 運動部の安全管理体制整備と学業・競技両立支援によるスポーツ活動の高度化
- 健康教育・地域連携・運動習慣化の推進による心とからだの健康づくり

基本戦略Ⅴ. 大学運営基盤の強化

61事業 うち新規事業 17

- ブランドメッセージ浸透に向けたインナー・アウトターブランディングの展開、ブランド価値向上
- 業務改革(業務のスーパーツールビズプロジェクト)と人材育成の一体推進による生産性・組織力の向上
- 学部特性に応じた支援最適化とキャリア支援強化による学生支援の充実
- DE&I推進と相談体制整備による多様性を尊重する大学の実現
- 同窓会連携強化と卒業生ネットワークの組織化による関係性強化

中期計画ステアリングコミッティ

舵取り型の「ステアリングコミッティ」で進捗を管理。従来の進捗管理を基盤としつつ、社会や技術の変化に強い運営体制へ転換します。

[事業計画・実績の詳細はこちらをご覧ください](#)

産学共創センター(仮称)建設工事に着手 ～「産学一如」を体現する新たな共創拠点の整備へ～

起工式を挙行

4月6日(月)、「産学共創センター(仮称)」の建設にあたり、起工式を挙行しました。当日は、大学関係者をはじめ、設計・施工関係者が参列し、本工事の安全を祈願しました。

本施設は、本学の研究成果を社会実装へとつなげ、企業との共同研究や産学連携をより一層推進することを目的に整備されるもので、産業界や地域社会と共に建学の理想「産学一如」を体現する中核拠点としての役割が期待されています。



産学共創センター(仮称)～次世代のイノベーション拠点として機能

産学共創センター(仮称)は、3階建ての施設として整備されます。

1階にはカフェやセミナー室、ステップテラスを設け、地域とつながる「交流・開放」フロアとして、学内外の人々が気軽に立ち寄れる空間を創出します。

2階には、教員・学生の起業を支援する「オープンイノベーションセンター」や共同研究空間を整備し、アイデアを形にする「共創」フロアとして、実践的な産学共創活動を支えます。

3階は、71m×23mのワンフロアに研究・実験スペースと事務機能を集約し、研究を推進する「実践」フロアとして研究成果の社会実装を後押しします。

なお、本施設は省エネルギーおよび創エネルギー技術の導入により、エネルギー消費量が実質ゼロとなることを目指すZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)認証の取得を予定しており、環境負荷低減に配慮した施設づくりを行っています。



工事期間は2027年11月までを予定しており、完成後は本学の新たなシンボルとして、学内外の人々が集い、学び、交流する拠点となることが期待されています。

産学共創センター(仮称)を核とした正門エリアの整備

本施設の建設に併せて、正門から図書館や産大前交差点へ続くメイン動線については、レンガ調舗装によるけやき並木「けやきのプロムナード」を整備します。

また、本施設と大楠アリーナ2020の間には、地域交流の中心となる「くすの葉広場」を新設し、多様な人々が集い、交流が生まれる「開かれたキャンパス」の実現を目指します。

「けやきのプロムナード(一般道路側)」と「くすの葉広場」の動線は、一般道側は1階、くすの葉広場側からは2階にアクセスできる構成とし、くすの葉広場へと続く段差を生かした「レンガ畳のステップテラス」などを整備する計画です。



「2025年度 グッドプラクティス賞」表彰式を開催

3月26日(木)、「2025年度 グッドプラクティス賞」の表彰式を開催しました。

本制度は、大学全体(機関レベル)におけるFD活動の一環として、「授業アンケート結果の組織的な活用」、「学生からの評価が高い授業を実践し、教育改善に取り組む教員の表彰」、「授業における様々な工夫(好事例)の共有を通じた授業改善支援」を目的に、2024年度から新設した取組みです。

今年度は、新たに演習系科目を対象に追加し、履修者規模別に16名の教員を表彰しました。また、表彰者が普段の授業において実践されているさまざまな工夫について、同日に開催した「第2回FD研修会」において、3名の教員から実践事例をご発表いただきました。

今後も本学では、教育力のさらなる向上を目指し、さまざまな取組みを継続的に推進してまいります。

[2025年度第2回FD研修会\(動画\)](#) 

[授業改善のための事例集2024-Teaching Tips-](#) 



2025年度 グッドプラクティス賞受賞者一覧

※職位は2026年3月31日現在

講義科目	部門	所属	職位	氏名	演習系科目	部門	所属	職位	氏名
小規模	10名~30名	地域共創学部観光学科	教授	尾崎正利	小規模	10名~30名	語学教育研究センター	常勤講師	Joe Hardy
	31名~50名	人間科学部子ども教育学科	講師	富永剛			地域共創学部観光学科	准教授	藤原なつみ
		人間科学部子ども教育学科	准教授	田中沙織		31名~50名	芸術学部ソーシャルデザイン学科	教授	井上貢一
中規模	51名~75名	生命科学部生命科学科	准教授	金子たかね	中規模		51名~75名	語学教育研究センター	常勤講師
		商学部経営・流通学科	教授	田中勝		建築都市工学部住居・インテリア学科		講師	近藤岳志
	76名~100名	国際文化学部日本文化学科	講師	森あかね		建築都市工学部建築学科	教授	矢作昌生	
地域共創学部観光学科		教授	永松毅文	76名以上	建築都市工学部建築学科	准教授	大庭知子		
大規模	101名以上	基礎教育センター	講師		林政喜	理工学部情報科学科	教授	下川俊彦	

海外で何が変わった？～グローバル研修のリアル～

1 世界を見据えた事務職員の育成へ

本学園は、中期計画(2021-2030)で掲げるスローガン「文理芸融合のグローバル総合大学へ」の実現に向け、国際化に対応できる語学力の向上や国際的視野を持ち活躍できる人材の育成を目的に、語学スキルやニーズに合わせた「事務職員グローバル研修」を実施しています。今年度もさまざまな部所から10名が本研修に参加し、3月19日(木)、海外研修を終えた職員による活動報告会を開催しました。子育て期の研修員の参加も見られ、ライフステージに関わらず挑戦できる研修として広がりを見せています。



2 参加者が実感した“変化”

報告会では、香港、シンガポール、ベトナム、台湾の各地域で実施された「海外協定校等の視察を伴う学生引率」「市場調査を基盤とした起業家教育」「異業種合同の海外企業訪問」について、プログラムごと



に現地でのリアルな学びを発表。各研修参加者は、研修前後の意識変化にも言及しつつ、「完璧な語学力よりもまずは動いてみることに、自分の考えを言語化し相手に伝えることの重要性を学んだ」「海外研修は想像よりハードルが高くないことを他の職員にも伝えたい」「研修での学びを大学に還元できるよう業務に取り組んでいきたい」と、今回の研修で得た知見を今後の職務遂行に繋げる決意が示されました。

3 国際業務に求められる視点

最後に、福岡女子大学国際化推進センター長の高原芳枝准教授による講話「大学の国際化と事務職員」では、国際業務担当職員に求められる役割と教職協働の重要性、プロフェッショナル職員に必要なマインドセットについて紹介。「前例のない状況こそチャンスです。誰も取り組んでいないことを楽しむ姿勢を持ち、諦めない精神で挑戦し続けてください」とエールが送られました。



研修内容	所属・氏名
①海外協定校等の視察訪問 研修先: 香港 研修期間: 9月8日～9月12日	産学連携・研究推進本部 吉村職員
②アントレプレナーシップ研修 研修先: シンガポール 研修期間: 11月9日～11月16日	人事部 岩尾係長 教務部 常住係長 大学改革推進本部 田口主任
③アジア研修 研修先: ベトナム 研修期間: 1月12日～1月18日	総合企画部 本村係長 産学連携・研究推進本部 松本主任
④海外協定校等の視察訪問 研修先: 台湾 研修期間: 3月9日～3月13日	人事部 石倉主任



福岡県東警察署と合同で不審者対応訓練を実施

3月23日(月)、初となる福岡県東警察署との合同不審者対応訓練を実施しました。訓練は、危機管理意識の向上と日頃からの安全確保の重要性を再認識することを目的に行われたもので、職員および学生約30名が参加しました。

当日は、キャンパス内に侵入した不審者が、その場に居合わせた学生に突然刃物で襲いかかるという想定のもと、負傷者の救護、110番通報、総務部長への速報要領などについて訓練を行いました。また、警察官が到着するまでの間、さすまたを使い不審者と対峙し、現場に到着した警察官が不審者を制圧・逮捕するまでの一連の手順についても確認しました。

訓練終了後には、東警察署の指導員から「110番通報の経験や警察と連携した訓練ができたことは非常に有意義でした。実際にさすまたを用いて複数人で対峙する際は、全員が同じ視界に入らない位置取りを心がけることで、より安全に対応できます」と講評と助言がありました。

その後、緊急時に身を守るための護身術の指導も行われ、参加者は真剣な表情で取り組んでいました。



新ブランドマーク始動

2026年度がスタートし、本格始動となった新ブランドマークは、日常の学内風景の中で身近に感じてもらえるよう、キャンパス構内各所に設置し、展開を始めました。

また、お披露目として、大楠アリーナ 2020 前に撮影スポットとしても利用できる期間限定の記念展示を行っています。




本展示は「Fukuoka Flower Show 2026」において福岡市植物園で展示されていたメインビジュアルを福岡市のご協力のもと活用しており、新ブランドマークのスタートを象徴するビジュアルとして構成されています。

構内各所に設置された新ブランドマークとあわせて、節目となるお披露目展示をぜひご覧ください。



おトクな団体扱自動車保険をご存知ですか？

団体扱自動車保険とは、個人で加入するよりも割安な自動車保険です。ご契約中の保険証券・車検証のコピー※があればすぐにお見積りできます。

-  **01** 学内で簡単に手続きできます！
-  **02** 保険料のお支払いが、給与控除、コンビニ払い、口座振替、クレジット払いなどが選べます。
-  **03** 更新手続きがスマートフォンで簡単にできます！

その他、ご不明な点等ございましたら ご遠慮なく下記までご相談ください。

お問い合わせ先 株式会社九産大サービスセンター 星野
TEL 673-5060(内線:5060) E-mail ksu-hoken@jcom.zaq.ne.jp
※ご提出いただいた保険証券・車検証のコピーは、自動車保険のご案内以外の目的には利用いたしません。

💡 3月のキャンパス電気使用量 905,729Wh(前年同月比 5.05%増) | 🛒 3月のキャンパスの燃えるゴミの量 5,730kg(前年同月比 0.88%増) | 🌡️ 寒暖の差が激しい季節ですね。体調管理に気をつけましょう!

次代を描く感性、 世界を動かす実践力



君は今、未来への入り口に立っている。
これからも一層のチャレンジを重ねながら
君は、君が持つ無限の可能性とともに
さらなる成長を遂げていく。

わたしたちもまた
新たなブランドマークとともに
たくましく前進する。
「感性」と「実践力」を強みに
次代を描き、世界を動かす。

さあいっしょに、はじめよう。
入学おめでとう。

2026年4月1日



九州産業大学
九州産業大学造形短期大学部

次代を描く感性、世界を動かす実践力

君は今、未来への入り口に立っている。

これからも一層のチャレンジを重ねながら

君は、君が持つ無限の可能性とともにさらなる成長を遂げていく。

わたしたちもまた新たなブランドマークとともにたくましく前進する。

「感性」と「実践力」を強みに次代を描き、世界を動かす。

さあいっしょに、はじめよう。入学おめでとう。